

1 木部も人工木もどちらも塗れる!!

密着性が良好で木部にも人工木にもしっかり密着します!
今まで不可能だった人工木への塗装が可能になりました!!

2 安心安全の水性塗料!!

水性塗料のため引火性も、シンナー臭も無く、使用された器具も水洗いが可能です。
水道水で希釈ができるのでうすめ液を用意する必要はありません。

3 速乾性で液垂れしにくい!!

乾燥時間が短いので液垂れしにくく作業性が抜群です。

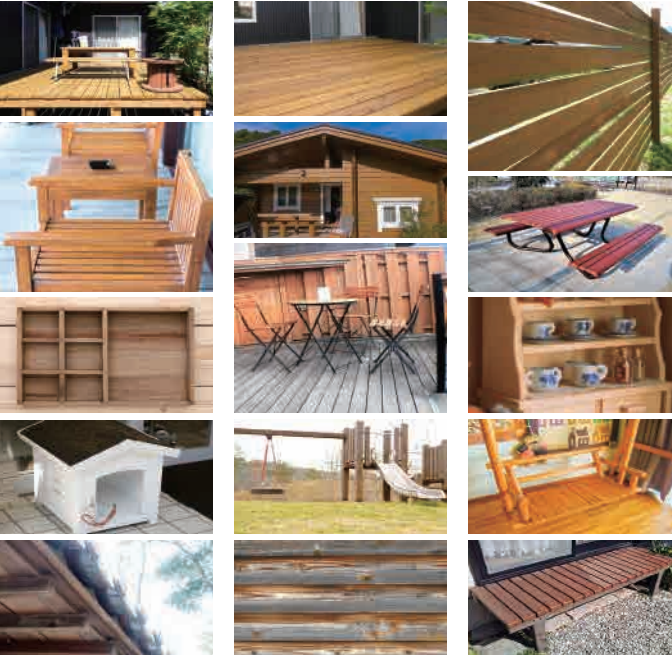
4 高発色で鮮やかな仕上がり!!

発色性が高く特別な技術がなくとも綺麗な仕上がりで塗装をお楽しみ頂けます。

5 食品衛生法に適合した水性塗料!!

食品衛生法に適合しているため、赤ちゃんのいるお部屋の家具や、ドッグハウスなどでも安心してご使用いただけます。

こんなシーンでご利用頂けます。



こんなところにも塗装可能です。



■注意事項

●気温5℃以下、雨天、湿度の高い(85%以上)時、及び強い日には塗装しないでください。●結露する季節は早め(午後3時頃)に塗り終えてください。●ワックス等油分のある塗装面は、脱脂、洗浄を行ってください。●人工木に塗装する場合は40番程度のサンドペーパーで木目に沿ってしっかりと目荒らしを行ってください。●詳しくは裏面の手順書をご確認ください。●顔料が缶の底に沈殿していることがありますので、使用前によく缶を振り、攪拌棒などでかき混ぜながら使用してください。●あらかじめ目立たないところで試し塗りをし、色や仕上がり感を確認してください。●針葉樹(マツ、スギなど)は吸い込みムラのでやすい木材の為、着色ムラ、および塗り継ぎムラがでやすくなります。必ず試し塗りで確認してください。●防腐剤、防汚剤は入っておりません。●手を触れたり、歩いたりする平面部(ベンチ、ペランタ、バルコニー等)は摩擦による色落ちが早くなる場合があります。その場合は塗り重ねをこまめに行ってください。●一度の塗装で厚すぎたり薄すぎないようにしてください。●十分に乾燥していない木部には塗らないでください。湿度が高い場合、低温の場合、塗布量が多すぎる場合、下塗りが未乾燥のうちに重ね塗りした場合、乾燥遅延を起こすことがありますので、ご注意ください。●乾燥時間、塗り面積の表示は、気象条件、木材の種類、状態、塗り方、色等によって多少異なります。●塗装後一週間位は引っ掻きや強い摩擦にお気を付けてください。●間違えて塗装した場合は本品が乾かないうちに布等で拭きとってください。●汚れても差支えない服装で作業してください。手袋や保護眼鏡等を着用し、出来るだけ皮膚に付着しないようにしてください。●皮膚に付着した場合は、すぐに水と石けんで洗い流してください。●使用後の余った塗料は容器に戻さないでください。●余った塗料(水や他の混合なし)はふたを密閉し、直射日光を避け冷暗所(5℃以上 35℃未満)で保管し、早めに使い切ってください。●塗装本来の目的以外には使用しないでください。

子供の家具やおもちゃも安心して塗装できます!!



【乾燥時間】

温度	乾燥時間	
	指触	塗装間隔
5℃	約8時間	約30分
23℃	約8時間	約20分
30℃	約8時間	約10分

※乾燥時間は天候(送風・湿度など)によって変動致します。

【塗り面積】

容量	1回塗り	2回塗り
0.7L	7.7㎡	3.85㎡
1.6L	17.6㎡	8.8㎡
3.0L	33.0㎡	16.5㎡
16kg	160㎡	80.0㎡

※ローラー、刷毛等で塗装した場合の目安になります。

【全12色】基本色のほかに「一般社団法人日本塗料工業会塗料用標準色」の色票番号に基づく調色対応が可能です。



※近似色での表現になりますので実際の塗料の色とは異なります。

【開発・製造】

特殊塗料開発製造メーカー



〒262-0011
千葉県千葉市花見川区三角町 118
フリーダイヤル: 0120-012-280
URL: <http://www.ban-zi.jp/>



ALW-200311

木部・人工木 どちらも塗れる

- ・人工木デッキ
- ・ウッドデッキ
- ・ウッドベンチ
- ・ウッドフェンス



水性

色褪せた人工木も
新たなカラーで
イメージチェンジ!!



ALL WOOD 人工木デッキ塗装手順

天然の木材に、色あせ・反り反り・虫食い等があるように、長期使用している人工木にも、色あせや黒ずみがあります。今までできなかった人工木の塗り替えが「ALLWOOD」で可能になりました。

**業界初!! 木部・人工木
どちらも塗れる塗料!!**



【作業前準備】使用する道具

塗装用具

用具は必要に応じてご用意ください

カップ・下げ缶・バケツ	塗料の移し替え用に使用します
布ヤスリ(#40)・紙ヤスリ(#240) ・ワイヤーブラシ	目荒らしに使用します
マスキングテープ・マスカー	周辺が汚れないよう養生に使用します
ダスター刷毛・ウエス	清掃用に使用します
ローラー・刷毛類	塗装に使用します
皮すき	缶をあける時等に使用します
手袋・エプロン	手や衣類の汚れを防ぎます
攪拌棒	塗料を混ぜる時に使用します
	ローラーを使用する場合は塗皿やバケツが必要です

1. 養生 (マスキング)

塗料がつくと困る場所 (金具や床面など) マスキングテープやマスカーで養生します。必要に応じて養生シートなども敷きます。



2. 目荒らし (布ヤスリ #40 使用)

しっかり目荒らしをする事で塗料の密着性が高まります。
※目荒らしの際はゴーグルなどで目を保護してください。



40 番の布ヤスリを使用し、木目に沿って目荒らしをします。溝の部分にもワイヤーブラシをあて、しっかりと目荒らしを行います。

目荒らしをした後は、ダスター刷毛や乾いた雑巾などで、木粉や埃をしっかりと払い落としてください。

3. 塗装 (1 回目)

塗装は薄く均一に行ってください。

厚く塗装しますと、乾燥不良や密着不良の原因になります。



ご使用前には缶を左右前後に振る、攪拌棒でかき混ぜるなど、必ずよくかき混ぜて塗料を別容器に移してから塗装を始めてください。

細かいところや裏側など、塗りにくい部分から塗っていきます。広い面はローラーで塗装すると簡単に作業できます。



1 回目の塗装後から次の工程までに時間を設けます。

< 乾燥時間の目安 > 気温 23℃ 1.5 時間以上
冬 期 3 時間以上

4. 木目を整える (紙ヤスリ #240 使用)

240 番の紙やすりで木目に沿って軽くかけ、ざらついた塗装面を整えます。
※強くこすりすぎると塗膜がはがれてしまいますのでご注意ください。



5. 塗装 (2 回目)

1 回目と同様に、**塗装は薄く均一に行ってください。**



**「ALL WOOD」を使用した
人工木デッキの塗装の完成です!**



塗装が完了したら速やかにマスキングを外し、使い終わった刷毛や用具はよく水洗いしてください。



BEFORE

AFTER

